

「方言」の変化を巡る多様な今を通して、
山形の魅力やあり方を再考し、捉えなおしていきます。

第1回

7/29(日)
13:30~16:00

開講式

館内学習

「方言とわたし」

方言は普段着の国語とも言われますが、なぜ、地域によって言葉に違いが生まれたのでしょうか。また、メディアの発達によって文化の画一化（共通化）が進む中で、これからも方言は生き続けるのでしょうか。身近にある方言からことばの多様性、魅力についても考えてみましょう。

■コーディネーター 阿部康子氏（「山形学」企画委員）

■講師



加藤大鶴氏
(跡見学園女子大学文学部准教授)

第2回

8/5(日)
9:30~16:30

現地学習

※注

「方言と最上」

新庄ふるさと歴史センター雪国民俗館で、民具にみる方言について解説いただくほか、みちのく民話まつりなど最上の方言にまつわる取組みや、新庄民話の会による民話語りから、最上の方言を味わい学びます。

■コーディネーター 松尾剛次氏（「山形学」企画委員）
■現地学習先 新庄ふるさと歴史センター

■講師



中澤信幸氏
(山形大学人文社会科学部教授)



三浦和枝氏
(最上地域史研究会幹事)

第3回

9/2(日)
9:00~16:30

現地学習

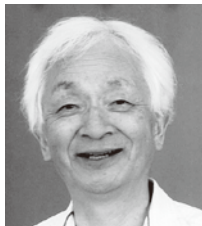
※注

「方言と庄内」

北前船の往来により上方の言葉も影響している庄内の方言。同じ庄内でも、城下町鶴岡と湊町酒田ではその言葉、特に語尾にも違いがあります。また三川町では全国方言大会が開催されていました。庄内の方言を通じ、その背景にある風土、生活、文化も味わい理解します。

■コーディネーター 小林好雄氏（「山形学」企画委員）
■現地学習先 いろり火の里施設内宿泊施設田田の宿

■講師



黒羽根洋司氏
(郷土史研究家)



白崎映美氏
(歌手)



志田徳久氏
(元三川町観光協会委員長)

第4回

9/29(土)
13:30~16:00

館内学習

「演劇にみる方言」

シェイクスピア劇に東北弁を用いた脚本や演出を手がけておられる下館先生と、映画「おしん」で山形弁の方言指導をされている今田先生に、演劇における方言の力や方言で演劇を行うことの意味、また方言を用いることの難しさなどについて語っていただきます。

■コーディネーター 菊地和博氏（「山形学」企画委員）

■講師



今田由美子氏
(俳優)



下館和巳氏
(東北学院大学教養学部教授)

第5回

10/7(日)
13:30~16:20

館内学習

閉講式

「方言の未来と進化」

方言のおもちゃ化・コスプレ化の時代を迎え、地域の歴史を継承するだけではない新しい方言使用の時代に突入したと言えます。YouTube、方言グッズ、方言の新語など若い世代の方言使用を通じて方言の未来と進化を考えます。

■コーディネーター 加藤大鶴氏（「山形学」企画委員）

■講師



田中ゆかり氏
(日本大学文理学部教授)



ミッチーチェン氏
(タレント)